別紙３

中央図書館等の移転先の選定について

１　移転先の主な条件

	視　点	考え方	具体的な条件
①	アクセス性	広島駅改札から短時間で来場できる。	改札から徒歩約３分（半径約240m）の範囲内にあること（右図のとおり）
		雨に濡れることなく、バリアフリー化された経路を通り、誰でも安全で快適に来場できる。	広島駅とペデストリアンデッキで接続されること
②	所要スペース	中央図書館及び映像文化ライブラリー、こども図書館を集約し、快適な利用スペース等を確保できる。	約１万㎡（１フロア当たり約2～3,000 ㎡）の空きスペースが確保できること
③	建築物の安全性	大幅な補強等をせずに安全に使用できる。	耐震基準を満たしていること
④	官民連携	民間施設との連携による情報発信の強化やにぎわいの創出が期待できる。	同一施設内に市民等が様々な目的で来場する施設等であること
⑤	他事業との相乗効果	広島駅南口広場再整備との相乗効果が最大限発揮されることが期待できる。	早期（目標令和７年度）の移転・開館が見込めること

２　広島駅周辺地区の民間施設の状況確認等

⑴　上記条件①のアクセス性を考慮し、徒歩約３分の範囲内にある既存ストックの活用を検討した。

⑵　上記条件②～⑤の条件について、徒歩約３分の範囲内にあり、移転先となり得る民間施設を対象に調査・確認した。

⑶　令和３年９月１３日付けで広島駅南口開発㈱からエールエール A 館内への中央図書館等の移転について検討してもらいたい旨の要望書を受理した。

３　中央図書館等の移転先の選定

上記の状況確認等により広島駅周辺地区の民間施設の現状等を把握し、各施設の条件などを総合的に勘案して検討した結果、エールエール A 館が最も条件に適合していることから、中央図書館等の移転先として選定することとした。

ＪＲ広島駅周辺地形図

出典：国土地理院地図電子国土 WEB（一部を加工して作成）